

○2018年7月6日 2018年度 第1回倫理審査委員会

申請者		国立病院機構箱根病院 栄養管理室長		二木 巨悦
研究の課題名		魚肉ペプチドの長期投与が栄養改善に及ぼす効果の検証		
研究の概要		<p>先行研究に引き続き、(株)鈴廣蒲鉾が開発した「さっとタンパク」(魚肉ペプチド)を長期間使用し、生化学検査及び尿検査、身体計測等の多角的な栄養評価を行い、神経筋・難病患者のたんぱく質代謝を分析し適切な栄養管理指標を検証する。胃瘻栄養を行っている神経筋・難病の入院患者が対象である。</p>		
判定	承認	承認番号	33	全員承認で一致した

申請者		村上華林堂病院 理事長		菊池 仁志
研究の課題名		難病患者のためのレスパイトケアマニュアルに関するアウトカム評価		
研究の概要		<p>厚生労働行政推進調査事業費補助金(難治性疾患等政策研究事業)『難病患者の地域支援体制に関する研究』班(研究代表者 西澤正豊、分担研究者 菊池仁志)において、平成28年度-29年度の研究の一環として、「在宅療養支援のために医療、介護、そしてその連携が円滑にできるためのシンプルで分かりやすいマニュアル」をコンセプトとして「神経難病患者のためのレスパイトケアマニュアル」を作成した。研究班の継続課題として、本マニュアルの活用に関するアウトカム評価が求められており、本件研究でその活用実態に関する調査を行う。</p>		
判定	承認	承認番号	34-1	全員承認で一致した

申請者		村上華林堂病院 理事長		菊池 仁志
研究の課題名		難病患者のためのレスパイト入院補助金事業に関する全国実態調査		
研究の概要		<p>本研究は各都道府県における難病患者のレスパイト入院の受け入れに関する補助金給付の実態を把握することで、レスパイト入院の受け入れの促進を図る。</p>		
判定	承認	承認番号	34-2	全員承認で一致した

申請者	北里大学医学部公衆衛生学単位 講師		江口 尚
研究の課題名	難病患者の新規就労又は就労継続に係るアンケート調査		
研究の概要	本研究は、難病患者において、新規就労又は就労継続に意欲的な者がどの程度の割合で存在するのか、支援機関等の利用状況、就労や継続ができない理由等の難病患者の就労に関連する情報を包括的に収集し、難病患者の新規就労・就労継続へのニーズを確認することを目的とする。		
判定	承認	承認番号	34-3 全員承認で一致した

申請者	国立病院機構まつもと医療センター 主任医療社会事業専門職		植竹 日奈
研究の課題名	医療機関における難病患者への就労(継続)支援モデルに関する研究		
研究の概要	本研究は、医療機関における難病患者への有効な就労支援の在り方を探るために、就労支援の具体的なあり方、手順、ツールをモデルとして提示し、活用、検証することでよりよい支援の在り方を探ることを目的とする。また、医療機関のソーシャルワーカーと難病相談支援センターの連携の強化に結び付く手順、ツールを構築することも目的とする。		
判定	承認	承認番号	34-4 全員承認で一致した

申請者	名古屋市立大学医学研究科 講師		植木 美乃
研究の課題名	指定難病患者が日常生活動作を維持していくために必要なリハビリテーション介入に関する研究		
研究の概要	本研究は、指定難病患者が日常生活を維持するのに必要なリハビリテーションの具体的な介入方法を縦断的に明らかにすることを通じて、指定難病患者が在宅療養を継続していくためのリハビリテーション管理方略を明確にすることを目的とする。		
判定	承認	承認番号	34-5 全員承認で一致した